



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成7年4月1日現在)

総人口23,241人(△308)	出生 18人
男 10,847人(△177)	死亡 24人
女 12,394人(△132)	転入 264人
世帯数 8,537 (△77)	転出 566人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

文化の花道

町を一直線に貫き、東の空に天駆けるように黒川峠を登る国道十号線――。

加治木の生命線、文化の花

道ともいえ、分厚いコンクリートに戦後五十年の悲喜こもごもした歴史を乗せ、東西の物流をスムーズにしてくれた。

だが今、その花道もあふれる車で色あせ、見通しがきかなくなつた。現代はスピードだ。車社会と化したその使命

はさらに大きく、都市機能をもおびやかす重大事となつてきている。――十号バイパスよ、早く走ってきたくれ。いまや車あつての文化、道あつての繁栄だ。道は繁栄の足跡であり、繁栄の足がかりでもあるのだ……。



バイパスの早期着工を待つ国道10号線

平成7年

4

月号

今月のページ

☆さえずりの森オープンノ…2～3ページ ☆議会報告…4ページ
☆施政方針…5～11ページ ☆まちの話題…12～14ページ
☆熱戦スポーツ…15ページ ☆アンの体験記…17ページ
☆掠鴉十…17ページ ☆竜門句会…18ページ ☆お知らせ…19～20ページ

オープン!!

毎週月曜日は休み

ただし、夏休み期間の
7月と8月はずっと開放



静かなふんいきです

レストラン

「ラ・ボア」開店

お気軽にご利用ください。

- 昼食（11時～14時）
- 夕食（当分の間予約が必要）

晴れやかに テーブルカット

ください。

レストラン「ラ・ボア」開店

森の中央、かじかの橋のほとりにある管理センターに、レストラン「ラ・ボア」が開店しました。「ラ・ボア」とはフランス語で小さな森という意味で、メニューは次のとおりです。

- ちどり定食（七品）一、二〇〇円
- ちどり定食（五品）九〇〇円
- 鶏飯 五〇〇円
- ちどりカレー 五〇〇円
- かけそば（うどん）三〇〇円
- 山菜そば（うどん）五〇〇円
- ちどりそば（うどん）五〇〇円
- おにぎり 一五〇円
- コーヒー 三〇〇円
- ジュース 一五〇円
- ビール 二五〇円～五〇〇円

施設の使用料（1泊）

先月号で紹介しましたが、主なものだけ再掲します。

・コテージ

- 基本料金 三、五〇〇円
- 一人につき 一、五〇〇円
- 一人で宿泊しても五、〇〇〇円。二人以上のときは、一人増すごとに一、五〇〇円追加。（七～八人収容可能）

毎週月曜日 施設は休館

さえずりの森は一年中オープンしていますが、施設は毎週月曜日は休館いたします。ただし、夏休み期間中の七月と八月は月曜日でも開放されます。また、月曜日でも施設を利用しない散策などはいつでもできますので、どうぞご利用

平成七年度をメドに、平成二年度から整備を進めてきた「さえずりの森」がオープンし四月一日、管理センター正面で町長をはじめ来賓の方々のテーブルカットで森開きを祝いました。

式典の後、参加した六十人あまりの人たちは、まぶしい緑の森に散在する真新しいバンガローやコテージ、ミニバンガローなどの施設を見学。その出来ばえにそれぞれ満足しながら、高倉展望所やかじかの橋から高岡公園へ通じる遊歩道へと足を伸ばしていました。

道路を舗装 案内板も設置

さえずりの森へのコースは、龍門滝から竜門司坂を登る散策コースと、町道毛上・提水流線から車で行けるコースがあります。

その森の中を縦横に走る車道はすべて舗装され、また施設の全体がわかるように案内板も設置されています。

森のさえずり



期待をこめてそれぞれテープカット



高岡公園からとひと味ちがった景観

・バンガロー

基本料金 二、八〇〇円
一人につき 一、五〇〇円
一人で宿泊しても四、三〇〇円。二人以上のときは、一人増すごとに一、五〇〇円追加。
(四〜五人収容可能)

※コテージ・バンガローは、テレビ、冷蔵庫、電話、水洗トイレ、シャワー、冷暖房完備、さらに炊飯炊具、毛布(シーツ)、まくら及び薪、炊事などの使用料金を含む。

・ミニバンガロー

一棟につき 一、五〇〇円
(何人でも料金は一、五〇〇円だけ。三〜四人収容可能)
※炊飯炊具、毛布(シーツ)、まくら及び薪、炊事棟などを使用するときは、別に料金が必要。

・シャワー

一人 一〇〇円

施設利用は申請が必要

宿泊施設を利用される場合は申請書が必要ですので、さえずりの森管理センターに申し込んでください。予約もできます。また当日出向き、空いていたらすぐ宿泊できます。

〔さえずりの森管理センター〕

☎ 62-6666

役場経済課にも申請書はありますが、台帳が管理センターにありますので、予約は管理センターへ直接してください。

みなさん、健康と休養を兼ね、子どもさんと一緒にさえずりの森へ足を伸ばしてみませんか。あなたの気にいること請合いです。



ミニバンガローがずらりと

平成7年度当初予算

91億4,400万円

議会

第1回定例会

報告



大きな姿をあらわした文化会館

文化会館の建設は順調
柁城小学校を大規模改造

文化会館建設に伴う平成七年度の予算は約三千億円で、五年度からの総額は約四十二億円の規模となります。

来年三月完成、十月オープンを

第一回町議会定例会は、三月九日から三十日までの十二日間の会期で開催され、文化会館建設に伴う約三千億円を含む平成七年度当初予算九十一億四千四百万円をはじめ、平成六年度補正予算、「報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」や「財産の取得について議決を求める件」など二十八件の議案を審議、原案通り可決しました。

目ざして順調に建設されていますが、鉄骨ながらも広い塩入新田の空間に壮観な姿を現しました。近くで見るとやはり大きく、町営運動場が狭く感じらるほどの威容さで、完成した立派な文化会館を見ることが楽しみになってきました。

また、昭和三十五年三月に建設され、老朽化の目立ってきた柁城小学校の大規模改造も予算計上されました。

これは、北側の校舎本体を骨組みはそのまま全面改造するもので、予算額は約一億九千万円。これには人件費や事務費、監理委託料、トイレリース料、工事請負費などが含まれています。

ほかに、町道小山田線A、明神東線、明神東線A（地方特定）の道路整備、木田江湖の公有財産購入費などが計上されました。

か のん
〈加音ホール〉

文化会館の愛称

に決定！

KANON HOLL



みんな熱心に審査

文化会館の愛称が、「加音（カノン）ホール」に決まりました。

愛称募集には、海外四通を含む全国都道府県から五千八百三十二通が応募。今年に入り、町内の高校生と一般代表、役場職員十八人による選考委員会を組織し、二月二十日まで同会を三回開催した結果、千葉県市川市の神谷美恵さん（三十八歳）の応募作品「加音ホール（kanon・カノン）」に決定しました。

これは加治木の「加」と「音」を組み合わせた造語で「カノン」とは、音楽用語で追復曲（何度でも反復すること）を意味するギリシャ語。「少しずつ変化して、どこまでも広がっていく文化創造の拠点にふさわしく、加治木の音を創り出すという意味」と、神谷さんは加治木の未来に夢と希望を吹き込んでくれました。

「新しいふるさとを創造する 交流拠点・加治木」を理念に 新しいまちづくりを

方針 針 施

宇都宮町長は、三月九日開催された第一回町議会定例会で、昨年着工した文化会館の建設を柱とする八つの重点施策とともに「人、もの、技術の交流するまちづくり」「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」「安心して住める健康なまちづくり」「自然と調和する快適なまちづくり」「個性あふれる産業振興のまちづくり」「行財政の推進」の六つの大綱を織り込んだ平成七年度の施政方針を説明しました。

本年度は

第五次実施計画に着手

まず、阪神地方を襲った大地震によって亡くなられた方々とそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表し、また負傷された方々や避難生活を続けておられる方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

今回の惨事は、国や地方自治体から企業、家庭、個人に至るまでの各レベルの防災対策を考える上で、貴重な教訓を残しました。ハード、ソフト両面の対策が求められております。

また、一九九五年は「戦後五十

周年」の節目の年であります。戦災にあり、あの焼野が原を茫然自失さまよい歩いた幼い日の自分自身の経験から、平和の大切さを痛感せずにはおられません。

今や、経済の成熟化、人口の急速な高齢化や価値観の多様化、更には国際情勢の急激な変化、特に円高等による諸企業（産業）、農産物等に与える影響など様々な歪みを生じ、今まで通りのあり方は社会のニーズに対応できなくな

中でも、急速に進みつつあるマルチメディアや価格破壊の問題など、先行き不透明で判断に苦しみ時であります。どの様な情勢の変化にも柔軟に対応できる行政をめざし、職員ともども一丸となって取り組んで参ります。

加治木町総合振興計画も、本年度、第五次実施計画に着手いたします。

現在、第五次実施計画を推進中であり、この間、事業推進に当たりましては、議会をはじめ住民各位の御支援と御協力をいただきながら、その推進に取り組んで参つたところでございます。

お陰様で、数々の事業が完成及び着手のはこびとなり、ほぼ目標通りの成果であったと自負いたしているところであります。



施政方針を述べる宇都宮町長

八つの重点施策を 積極的に展開

平成七年度の予算編成に当たっては、国、県の施策の動向を見極めながら、厳しい財政事情の中、自主的な行財政運営を基本に編成し、重点施策として次の八つの施策を設定いたしました。

その施策の第一は、町民の長年の夢であった文化会館建設を昨年度から着手していますが、その完成に努力するとともに完成後の管理・運営に取り組んで参ります。

二つ目に、町内道路及び街路網の整備、三つ目に急速な高齢化・少子化の進展に対応する福祉の充

実、四つ目に教育文化の充実、五つ目に下水道事業の整備と環境衛生の充実、六つ目に龍門滝温泉を核とした龍門滝、宇曾ノ木周辺の整備に併せて、さえずりの森の管理・運営、七つ目に農業の振興と商工業の推進、八つ目に住民の声を町政に反映すべく、住民との対話です。

このように、町政の限らない前進のために所要の施策を積極的に展開し、町民の負託に応えてまいります。それでは、各般にわたって施策の大綱を説明いたします。

8つの重点施策

- ☐ 文化会館建設及び管理運営
- ☐ 町内道路及び街路網の整備
- ☐ 急速な高齢化、少子化の進展に対応する福祉の充実
- ☐ 教育文化の充実
- ☐ 下水道事業の整備と環境衛生の充実
- ☐ 龍門滝温泉を核とした龍門滝、宇曾ノ木周辺の整備にあわせた「さえずりの森」の管理・運営
- ☐ 農業の振興と商工業の推進
- ☐ 住民との対話

人もの、技術の 交流する まちづくり

木田振興地区に新港

県が災害対策用に調査

県スポーツ中核施設を誘致

大綱の第一点
「人もの、技術の交流するまちづくり」

本町新総合振興計画の基本理念「新しいふるさとを創造する交流拠点・加治木」を推進するため、さらにその機能を強化し、また人の交流を促進して、地域に開かれた町づくりを進めていきます。

本町における陸・海・空の交通の機能をさらに強化するため、木田振興地区の今後の整備計画と併行して、当地域に新港を整備するべく、県へ計画書を提出していますが、県には災害緊急時に対応する港湾整備事業の構想もあり、平成七年度に現況調査、課題整備、基本方針の策定など（仮称）新加治木港マリンタウンプロジェクト調査を行うとしています。



世界へ広がる新港を

を持つ人々の集まりであるまちづくりができます。

また、特に空港からの県外客のうち、鹿児島、指宿方面又は大隅方面への海上アクセスの拠点としての機能や、鹿児島への通勤・通学のための交通手段として海上交通を積極的に導入することが必要です。

さらに、これまで県スポーツ中核施設を誘致すべく努力して参りましたが、県は計画のうちサッカー

バイパス用地の買収始まる

国際交流の機会を広げる

次に、国道十号バイパスの建設促進については、今まで機会あるごとに議会と一体となって陳情活動をしてきましたが、用地買収については昨年十月に価格が決定されたので、新生町から買収が始まりましたので、今後は一日も早い着工に向け、さらに陳情活動に努力していきます。

次に外国青年招致事業です。

昨年度から町の非常勤職員として国際交流員一名を招致していますが、本人の努力もさることながら、多くの住民との交流が深められ、国際理解に寄与しているものと思いますが、その活動をより深め、住民の国際交流機会の拡充に努めてまいります。



アンさんも活躍しています

ーを中心とする専用球技場については、鹿児島市の中山地区に決定しました。残された施設として、体育館、水泳競技場、海上スポーツレクリエーション施設等がありますが、まだ正式に発表されていませんので、今後なお一層の努力をしていきます。

これが実現できると、スポーツ技術の向上はもちろん、県内外や国際人などとの交流の場としても期待がもてます。



人と人のふれあいを大切に

豊かな教育と 文化あふれる まちづくり

個性的で創造的な教育と

ふるさと教育を推進

大綱の第二点

「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」

きたるべき新しい時代は、国際化、情報化、高齢化などの社会変化に対応した生涯学習の観点に立つ、個性的で創造的な教育のあり方が求められています。そのため、今日まで培われてきた「輝かしい歴史と伝統」を継承しつつ、児童・生徒の個々の能力や個性を伸ばす教育環境整備を進め、各種生涯学習推進体制を確立し、個性豊かな地域づくりにつとめます。

また、教育の三本柱ともいわれる「学校教育、家庭教育、社会教育」に加え、「ふるさと教育」に

も力を入れていきます。

まず、学校教育の充実については、就園、就学、育英奨学資金などにも配慮するとともに、児童・生徒の学力向上、教職員の資質の

人間的ふれあいを深め

文化の香り高いまちづくりを

次に社会教育の振興です。

社会教育は、基本目標に生きがいのある生活と豊かな環境を求め明日をひらくために「学ぶよろこび、生かすよろこび、助け合うよろこび」をきっかけ、国際化や情報化、高齢化などの社会変化に町民が主体的に対応して、生活の楽しみや生きがいを求めて充実した人生を送れるように、生涯各時期に応じた学習の場の提供や条件整備に努め、潤いと活力のある郷土を創るため生涯学習の機構整備などを積極的に行っていきます。

また、個性豊かで心身共にたくましく思いやりのある青少年を育成するため、異年齢集団による自然体験学習や社会参加活動を促進するとともに、家庭教育の充実をさらに推進していきます。さらに明るく、豊かで、潤いと活力のある地域づくり、人づくり、まちづくりを推進するとともに、人間的

向上、生徒指導の充実につとめ、特色ある学校づくりに取り組み、施設・設備の充実や、諸研修会等に対する積極的な指導・援助を行い、一人一人を大事にした教育を推進していきます。

さらに、柁城小学校の大規模改造の実施や、各小学校へのパソコン導入も計画的に進めます。

なふれあいを図っていきます。

次に、社会の進展とともに、物の豊かさから心の豊かさを求められる今日、町民の芸術文化活動に対する期待はますます高まっています。おり、芸術文化活動の発表や鑑賞の機会の場を広げ、文化の香り高いまちづくりに努めます。

また、多くの歴史的な文化遺産に富む本町の文化財は、郷土愛の精神を育むための貴重な史料であり、次の世代に引き継ぐべき大切な財産です。文化財の保存、活用、整備、愛護思想の普及等を積極的に進めます。

次に、柁鳩十文学記念館は開館五年目を迎え、入館者が去る六年十一月十七日で五万人に達しました。児童文学者・作家として優れた功績を残された柁鳩十氏の業績を顕彰し、柁鳩十の世界を広く紹介することにより、柁鳩十文学記念館の利用の促進を図っていきます。

す。

事業としては、柁鳩十文学記念館賞・全国読書感想文コンクールをはじめ、町内小・中学生で読書に励んでいる児童・生徒の表彰や、柁文学の学習・研究を推進するため「柁文学を語る会」や、幼児・児童に読書に親しむ動機づけを行う「メルヘンの玉手箱講座」等を引き続き実施し、さらに親子読書運動の推進基地として、町内はもちろん広く県内外に読書運動の波を起こしていきます。

自然を生かした

健康づくり

次にスポーツ、レクリエーションの振興です。

週休二日制の導入が進むなか、町民の欲求に対応するために温暖な気候、豊かな自然条件を生かした健康づくり、スポーツ活動を一体的に推進し、「健康とスポーツの発信地」を基本とした地域づくりをめざしていきます。

次に、学校保健の充実については、小児成人病予防検診をはじめとする予防と対策を進めます。

学校体育は、生涯スポーツの基礎となるもので、かつ児童・生徒の成長期における心身の適正な発達のために極めて重要です。

また、安全対策については、学校との連携を深めながら適切な指導を進めていきます。

安心して住める 健康な まちづくり

在宅福祉のニーズの充実

ゴールドプランを強力に推進

大綱の第三点

「安心して住める健康な町づくり」

社会福祉の充実、町民が平等で安心して、生きがいのある暮らしが営める社会の実現です。

ゴールドプランとして、既存のデイ・サービス事業、在宅老人短期保護事業（ショートステイ）、各種の在宅高齢者福祉サービスの充実及び在宅介護支援センター運営事業、ホームヘルパー派遣事業

等を主体に、ひとり暮らしのお年寄りやねたきり老人・虚弱老人、身体障害者等の在宅福祉のニーズの充実を図ります。

また、介護ヘルパー派遣事業と併用し、巡回入浴車の活用とともに、福祉温泉バスを活用して龍門滝温泉までの送迎を行い、高齢者の健康とふれあいの場をさらに充実していきます。

また、公・私立合わせて七か所の保育所での保育をはじめ、児童



生きがいのある生活を

交通安全の

思想普及を

次に交通安全対策です。

本町は交通の要所にあるため、ガードレール、カーブミラー等の安全施設の整備を図るとともに、平成七年度は特定交通安全施設整備事業・新生町南線、端山通り線の歩道の整備のほか、交通安全教室の開催など、関係機関・団体と協力して交通安全思想の普及・徹底を図ります。

独居老人世帯など

修理・点検を無料

次に水道事業です。

上水道の普及率が九九・二％、簡易水道が七四・三％となり、全体の普及率が九五・二％となり、国の定める十か年計画の全国平均九四％をしのいでおり、今後とも水道水の安定的供給をさらに推進し、住民の要望と期待に応えていきます。

また、本年度は初めての試みとして、独居老人世帯、母子世帯等の給水施設の点検や簡易な修理の無料サービスを、一定期間を設けて実施します。

そして、いつでも安心して、おいしい水が供給できるよう、老朽管施設の改良や消火栓の新設・改良等につとめます。

基本検診と胃がん検診を

同時に実施していきます

次に保健衛生です。

まず、幼児・児童・生徒を中心とする予防接種ですが、昨年の予防接種法の改正に伴い、予防接種の種類の見直しや健康被害対策として予防の強化、個別接種の推進等を図っていきます。

次に保健事業ですが、すでに実施段階に入っている老人保健福祉計画に基づく保健サービスの目標に従って、基本健康調査、各種がん検診、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の諸事業を実施していきます。

現在、基本検診と胃がん検診を

同時に実施していますが、その他の検診についても、町民が受診しやすい環境を整えるべく、創意・工夫をこらしていきます。

この保健事業は、健康保険法等の改正に伴い在宅医療の推進を図り、今後、福祉との連携を密にして保健婦の訪問活動等保健サービスの向上につとめます。

次に母子保健対策ですが、「母子保健相談指導事業、母子保健地域活動事業、母子栄養健康づくり事業」、一歳六か月児健康診査事

業、五歳児（かみかみ）歯科検診

事業、一・二歳児フッ素塗布、むし歯予防事業など、母と子の健康増進事業を実施していきます。

次に、昨年度から活用しているオフィスコンピュータによる健康管理システムについて、さらに開発・運用を進め、事務や検診の省力化を図る一方、保健サービスの向上と機能充実のため、保健センターの増築事業を計画中です。

そのほか、諸事業の実施については、町三医師会並びに関係機関等との連携を深めて推進します。



健康教室も好評です



整然となった加治木駅前団地

自然と調和する 快適な まちづくり

阪神大震災を教訓に 防災計画の見直しを

大綱の第四点

「自然と調和する快適なまちづくり」

豊かな自然と快適な住環境が調和したまちづくりの推進を図るため、主要幹線道路と調和のとれた町内幹線道路網の整備及び改良・補修や、潤いに満ちた都市公園の整備、維持・補修につとめます。

また阪神大震災を教訓に、本町防災計画の見直しを行い、単に本町だけの問題だけではなく、鹿児島県全体の問題として取り組んでいきます。

一方、一昨年の大雨を教訓に、雨水に対する浸水対策として、市

街地の排水計画を抜本的に見直すため、その調査を行い、網掛川の改修とあわせて、今後、排水施設の整備事業につとめていきます。本町における道路整備として、幹線道路は補助事業の活用を図って、引き続き小山田線、明神東線の改良、新生町南線及び端山通り線の歩道の改良につとめます。

このほか町単独事業として、町内一円にわたる道路の局部改良、舗装及び側溝の整備等を施工していきます。

また道路の維持・管理についても、常に道路の状況を把握し、道路本来の機能が發揮できるように的確な管理をしていきます。

また道路の整備に当たっては、地域の方々の理解と協力をいただき、今後とも積極的に進めていきます。

次に街路事業としては、これま

合併処理浄化槽の設置を推進 町内全域の可燃ゴミを収集

次に環境衛生です。

まず生活雑排水対策ですが、水質汚濁防止法の規定に基づき、本町は鹿児島湾奥の生活排水対策重点地域に指定されていますので、平成七年度は生活排水対策推進計画を策定します。また合併処理浄化槽設置整備事業推進の諸準備が整いましたので、国の補助採択を受けて進めていきます。

次に小規模水道は、基本的には今後残された区域の全体計画を策定し、簡易水道事業を促進していきます。それまでの間は、現在の施設について、上水道事業部局の技術的援助や財政援助により、日常生活に支障がないように努めて

いきます。

騒音・悪臭・水質汚濁・不法投棄等の公害問題については、法の規制対象外の近隣公害等を含め、保健所、県行政機関等と協力し、町民の快適な生活が図られるよう迅速な対応・指導や日常の啓発活動を進めていきます。

廃棄物処理対策は、近年、ゴミ袋の指定代や町民のゴミ問題に対する理解・協力も深まり、その量も減少しています。一方、資源ゴミ回収については、年三回の集団資源ゴミ回収に加え、地域における各種団体の資源ゴミ回収も活発になってきており、町としてもさらに指導・援助を強めます。また

で継続して事業を進めてきた岩原西線、海浜通り線の一期工事及び諏訪後通り線が完了したので、引き続き施工中の海浜通り線二期工事の早期完成に努力します。また諏訪後通り線の完了に伴い、起点側の加治木駅前広場の改修についても継続して施工します。

次に公営住宅についてですが、今後、建替事業を効率的に推進するため、建替を要する既存の公営住宅を対象とした住宅再生マスタープランを策定していきます。

不燃ゴミは、平成七年度から処分場に搬入される不燃物のうち、有価物等についてはリサイクル化を推進していきます。

なお、可燃ゴミの収集・運搬については、今後、町内全域について実施していきます。

地域ぐるみの

防災計画を

次に消防、防災ですが、町民の生命、財産を火災や地震、水害から守ることは、行政の大きな役割の一つです。

阪神大震災を教訓に、行政はこれまでの防災計画を長期的プランの基に見直していきますが、地域においては独特な形態がありますので、地域ぐるみの防災計画を推進していきます。

個性あふれる 産業振興の まちづくり

農業の生産性向上をめざし 地区内整備を充実

大綱の第五点

「個性あふれる産業振興のまちづくり」

買物が楽しめる魅力ある商店街の形成、恵まれた交通条件を活用し、研究機関等頭脳立地型企業や公害のない隣空型企業の誘致、農業、林業が環境面に与える多面的な機能を活用しつつ、付加価値を高めた農産物の安定供給、また、地域の特性を生かした観光レジャーを育成していきます。

また、水田営農活性化対策事業については関係機関・団体と協議をさらに深めていきます。

また農業の生産性向上に向け、水田の汎用化等、きめ細やかな対策として県営ほ場整備事業を昭和六十一年度から施工してきましたが、平成七年度は一部の換地処分と地区内整備の充実を図っていきます。

県単独農業農村整備事業では、農道の舗装・改良として二地区の整備を計画しています。

県営畑地帯農道網整備事業は、農道網を整備し、荷傷みの防止や防塵対策を図るとともに、機械化営農により農業の近代化を促進す

る整備を進めていきます。西浦地区は昨年度で舗装が完了しましたので台帳整備をし、楠原地区は、引き続き舗装工事と第二楠原地区の全体計画を実施していきます。

次に農地保全ですが、農地の浸食防止の排水施設等の新設・改修事業は県営シラス対策で市来原地区を、団体営シラス対策では菖蒲谷地区を引き続き進めます。

海岸保全施設整備事業も継続して局部改良を進めていきます。

さえずりの森オーブン

利用者の定着化を

次に水産業の振興ですが、本町には錦江湾を主とする外水面と、網掛川を中心とする内水面漁業とがあり、どちらも町観光振興に重要な役割をもっており、流域や沿岸の環境整備をはじめ、資源確保のために魚介類等の放流を進めていきます。

商工業の振興は、周辺町村の大型店舗出店による影響を受けないように、商工会を中心にそれぞれの商店が一層の結束を図っていますが、今後さらに商店街に活気を広げるため、商店街への花壇設置等の美化を創造しながら集客対策を進めていきます。

次に観光事業です。観光資源のストックに併せ、心の行き届いた観光地の活用を図り、観光事業の振興につとめます。特に、龍門滝

次に林業の振興ですが、森林の持つ多面的な公益性を最大限に活用し、さらに健全な森林の育成を図るために治山治水事業を積極的導入し、安全性の確保を図りながら樹林の除伐・間伐の推進や山林の環境整備を進めていきます。

また、さえずりの森の補完事業は資源活用型林業構造改善事業の導入を図り、周辺整備を段階的に進めるための計画づくりに着手します。

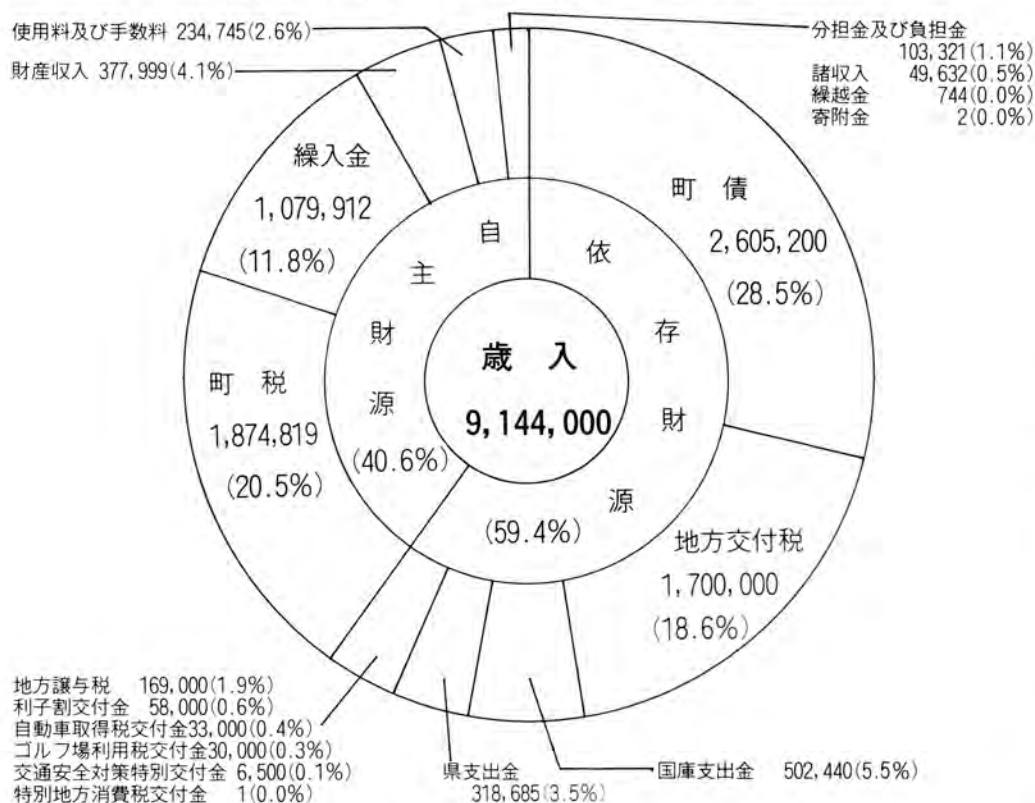


田んぼもきれいに……



散策にも最適です

平成7年度一般会計当初予算の構成



行財政

明るい行政を目標に

大綱の第六点
「行財政の推進」
行財政の推進に当たっては、限られた財源の中で最大の行政効果

を上げることが大事です。
今後とも行政改革の一層の推進に努めるとともに、日々刻々と変化する社会情勢と多様化する住民

のニーズを的確に把握して、柔軟な発想に立った諸行政施策を推進していきます。
また、職員が多様な能力・知識を修得し、行政に対する的確に対応できるよう研修させ、職員の資質向上を図り、絶えず自らを戒め、

行政の規律を正し、明るい行政を目標に、町民の負託に応えるべく最大限の努力をしていきます。
平成七年度一般会計予算は、九十一億四千四百万円で、昨年度当初予算に比べ、三十二%の伸びとなっています。

平成7年度当初予算の総額

会計名	予算額
一般会計	91億4,400万円
国民健康保険特別会計	15億5,249万5千円
簡易水道事業特別会計	6,930万1千円
地域下水処理事業特別会計	3,453万5千円
老人保健医療特別会計	25億6,999万2千円
農林業労働者災害共済事業特別会計	178万8千円

小学生が

わかりやすいように

環境教育副読本を創刊

町とりサイクル連絡会では、社会問題にまで発展してきた「ゴミ問題」について、子どもたちにその理解を深めてもらおうと、環境教育副読本を創刊しました。

これは、町とりサイクル連絡会（中元邦利会長）が中心になり、一年間かけて調査、研究を重ねて作ったもので、一千部作成。内容は三十ページからなり、加治木町内の実情に合わせ、小学生がわかりや

すいように紙面全体にアニメがにぎわい、また興味を示すようにクイズ形式にもなっており、加治木町の貴重な環境マニュアルとして平成七年度から小学校高学年用に使われることになりました。

県内でりサイクル連絡会を最初に結成したのは加治木町ですが、この副読本も県内初。環境問題に対する小学生の意識高揚に期待がもたれます。

明神・豊町の

民生委員・児童委員です

よろしくお願いします。



秋宗郁子さん

住所：木田948-1（豊町）

電話番号：☎62-0168

担当区域：明神・豊町

任期：平成7年11月30日

（前民生委員の残任期間）



先生、ありがとうございます



きれいになりました



わかりやすいゴミ勉強

くらしに役立っています

厚生年金・国民年金積立金

厚生年金保険及び国民年金の被保険者の方々から徴収された保険料の積立金の一部は、市町村などの地方公共団体に還元融資され、わたしたちの身近な福祉や生活の向上に直接役立つ施設整備の建設費などに使われています。

町では、平成五年度に引き続き平成六年度も七百二十万円の融資を受け、西別府の桑迫、菖蒲谷自治会の簡易水道拡張事業を行いました。また、平成七年度もこの融資で簡易水道送水施設整備事業を行う予定です。

きれいになりました

緑化推進コミュニティ助成事業

あなたの買う宝くじで、毎年、町の事業が行われているのをご存知ですか？

あなたはハズレてしまっても、町に宝くじ普及事業の一環として「コミュニティ助成事業」の補助金があるのです。

平成六年度は、塩入橋たもとの植樹帯に、花見ができるように桜の木とキリシマツツジを植え、みなさんのやすらぎの場をつくりました。道行く人や学生たちからも「きれいになり、ふんいきがよくなりました」と喜ばれています。

心に残る記念品を

永原小の矢野校長

永原小学校の矢野兼雄校長は三月二十四日、今年の卒業生七人男四人、女三人に手作りの記念品を贈りました。

これは、矢野校長が昨年から作っている孟宗竹の細工物で、女の子には根っこを工夫して花のよう

にはしっかりと勉強するようにと鉛筆立てをそれぞれ贈ったもので、昨年も今年同様、男四人、女三人に手渡しています。

これは心に残る記念品で、卒業生はそれを見るにつれ、校長先生の顔とともに懐かしい小学校の生活を思い出すことでしょう。

小山正恵さんを委嘱

すこやか長寿社会運動

推進協力員

六十五歳以上の高齢者の割合が
あと四、五年で、ほとんどの市町
が二十%を超える勢いです。その



よろしくお願いします

ような状況の中では、高齢者が住
みなれた家庭や地域の中で、健康
で生きがいをもって暮らしていけ
るような「すこやかな長寿社会」
づくり運動を推進することが急務
となります。

この運動の浸透、普及を促進す
るため、本年度は反土地区の小山
正恵さん（田中）が県社会福祉協
議会長から「推進協力員」として
委嘱されました。みなさんのご理
解とご協力により、この運動が一
層推進されますよう期待します。

瀬戸口喜敏さんらを表彰

生涯学習推進大会

平成六年度の町生涯学習推進大
会が三月一日、三百人あまりが参
加して福祉センターで開催されま
した。

大会では、社会教育学級を終了
された方々の終了証の授与式や、
地域づくりや文化活動とおして
生涯学習の推進に尽力された個人
や団体の表彰、竜門小学校文化財
少年団と高齢者学級生の活動発表
などがありました。

最後に、迫正人先生（垂乳根ト
レーディング代表）の「ヨット世

界一周の旅」の講演があり、「人
間は夢を持つことを忘れてはいけ
ない。人生は八十年、夢に向かっ
て果敢に挑むチャレンジ精神が大
事です」などと、自分で体験した
ヨット世界一周を人生にたとえて
訴えていました。

表彰された方々。（敬称略）

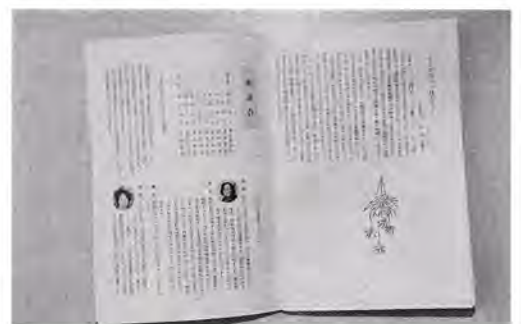
〔地域づくり部門〕瀬戸口喜敏▽
中元邦利▽下楠蘭勲

〔芸術文化活動部門〕村角睦子

〔社会教育関係団体部門〕
生活学校



表彰を受ける方々



生活に密着した運動を展開

なつたしい思ひ出とともに

生活学校

二十五年のあゆみを創刊

このほど、町生活学校二十五年
のあゆみが創刊されました。

これは、八人の発刊メンバーが
九か月かけて作ったもので、二十
五年の思い出とともに、これまで
手がけてきた問題点を座談会や年
表、写真で紹介しています。

生活に密着した主婦による主婦
の勉強の場——「生活学校」が
開校したのは、昭和四十四年。以
来半世紀を迎えましたが、月一回
会合を開き、その時代時代の問題
点をえぐりながら、さらにそれを
加治木に置き換えていろいろと掘
り下げてきました。

主なものに、食品添加物や着色
料、過剰包装、虚礼廃止運動、省
エネなどがありますが、さらに平
成三年にはゴミ処理に取り組み、
リサイクル連絡会発足の導火線に
もなっています。

現在、生活学校（瀬戸口京子運
営委員長・部員三十八人）は高齢
化問題に取り組んでいます。生
活学校そのものも高齢化して若い
人の加入が少ないのも悩みです。
若い主婦のみなさん、生活学校
に入会したい方は瀬戸口京子さん
まで連絡をお願いいたします。

（☎63-3184）

公民館が完成

永 治 会
徳 自 治

小山田の徳永自治会（徳部自治
会長・十五世帯）では待望の公民
館が完成し四月二日、会員総出で
落成式を祝いました。

公民館建設が持ち上がったのは
四年前で、建物本体は業者が請け
負いましたが、後はみなで自治
会所有の木材を切り、外構工事や
トイレ工事を奉仕作業。建物面積
は四十八平方メートル。事業費は四百三
十万円、内訳は会員の拠出金と
町補助金（百三十万円）です。



りっぱな公民館です

教育功労者に感謝状

教育委員会

加治木町の教育振興に貢献され、町内の学校を最後に退職された八人の先生に四月三日、町と教育委員会から感謝状が贈られました。

〔大迫實先生〕
加治木中学校教諭。昭和62年4月1日〜平成7年3月31日

〔中村孝子先生〕
加治木中学校教諭。昭和61年5月1日〜平成7年3月31日

〔前田満先生〕
柁城小学校校長。平成5年4月1日〜平成7年3月31日

〔協昭夫先生〕
〔阿多幸一郎先生〕
加治木中学校教諭。平成3年4月1日〜平成7年3月31日

〔小坂千明先生〕
柁城小学校教諭。平成3年4月1日〜平成7年3月31日

〔市来和暢先生〕
錦江小学校教諭。平成4年4月1日〜平成7年3月31日

〔久保田秋範先生〕
錦江小学校教諭。平成5年4月1日〜平成7年3月31日

小さな親切運動で表彰

柁城小学校

小さな親切運動で柁城小学校が表彰され三月十六日、校長室で小さな親切運動県本部篠崎事務局長から前田校長に表彰状が手渡されました。

柁城小はこれまで、心豊かな人間育成を教育課題に、年間を通じて小さな親切運動やボランティア活動に取り組み、「自分のできることをしよう」をテーマに全校児童にその輪を広げてきました。

具体的には、校内や町内のゴミ拾い、お年寄りのいる加治木望岳園の慰問、手紙で交通安全を呼びかけてきましたが、これらの行動を通じて「自分にできること」が児童一人ひとりの心に植えつけられたと認められたものです。

これから教育は、頭痛の種だった偏差値制度がなくなり、勉強だけでなく、個性も重視されるようになっていきます。ボランティアもその一つで、それらを通じて自分の心を磨き、自分をアピールすることができそうです。

このように「小さな親切運動」は、相手を助けるとともに自分にもはねかえってくるのです。



ごくろうさまでした



小さな親切運動を学校の柱に

地域に看護のイロハを

町公民館婦人部

家庭看護教室の最終講義が三月二十日、福祉センターで開かれました。

これは町社会福祉協議会が毎年開催しているもので、今年は五日の日程で開設。日本赤十字から派遣された講師を囲んでいるのは町公民館婦人部（部員二十五人）のみなさんで、足音高く近づく高齢化社会をにらみ、施設介護から在宅介護に移行されつつある在宅福祉のイロハを学び、地域に反映させようと参加したものです。

この日は、浣腸がテーマ。恥ずかしながらもモデル役を買って出た人を相手に、みんなは熱心に取



きれいに出了かな？

特選 若松浩太郎君

明るい選挙学習字コンクール

平成六年度「鹿児島県明るい選挙学習字コンクール」に町内小、中学校から九百八十八名の応募があり、県の審査で若松浩太郎君が特選に入賞しました。

成績（敬称略）

特選 若松浩太郎（加中三年）	☆応募者数と課題
入選 森田佳奈（柁小三年）	小学校三年 一三一点
石原美紅（柁小四年）	四年 一七六點
玉井寛子（柁小六年）	五年 九一点
山崎征太郎（加中二年）	六年 一二七點
谷口成孝（加中三年）	中学校一年 一九六點
	二年 一四八點
	三年 三九點
	普通選挙制 国民主権
	民主政治
	投票
	責任
	平和
	自由



フジパンカップ第二十六回九州少年サッカー大会が三月二十七日と二十八日の二日間、大分県別府市実相寺サッカー場で開催され、鹿児島県代表の加治木サッカースポーツ少年団がみごと優勝の栄冠を手に入れました。

各県予選に千五百というぼう大な数のチームが参加した今回の大会は、各県代表二チームずつによる十六チームで開催。県大会二位の加治木サッカースポーツ少年団（宮園公洋監督・部員四十六名）は、緒戦は後半十分前までに三対一と苦戦を強いられ、さすがにこのときは監督も絶対絶命を覚悟したほど。しかし、後半十分前に一点返すと、終了間際ついに同点としてPK戦に持ち込み、その結果、からくも四対三で振り切ると、それからというものの、勢いに乗って接戦ながらも確実に点数をあげて相手を沈め、ついに千五百チームの頂点をきわめました。

主将の福山由哉くん（六年生）はこれが小学校最後のゲーム。それを見届けた父親でコーチの福山義一さんも試合当日は心中穏やかでなかった様子で、「六年生は十二名いますが、みんなよく厳しい練習についてきてくれ、最後の試合でいい結果が出せました。私も感動しました……」と激戦の光景が頭をよぎるのか、その弁も心なし上ずっていました。

二十六回大会のうち、鹿児島県勢が優勝したのは今回を含めて五回目。加治木サッカースポーツ少年団の活躍は、Jリーグの城選手や池ノ上選手を輩出した加治木のサッカーレベルが高いことを証明してくれたようなもので、町内の錦江サッカーと柁城サッカーの選手にも夢と希望を与え、これから加治木のサッカーに明るい展望をもたらしました。

みんなよくがんばってくれました。おめでとうございます。



(サッカー) みんなで勝利

男子		女子	
小学生・3km	中迫智哉	小学生・3km	大園明美
中学生・5km	前田聖悟	中学生・3km	山角直子
一般・5km	小川裕文	一般・3km	坂元ヨリ子
高校生・10km	大園哲也		
一般・10km	前田昭信		

町ジョギング大会は二月二十六日、緑に映える高岡公園を中心に開催されました。

成績（敬称略・一位のみ）

緑をかけ抜けて

町ジョギング大会



さわやかな汗を



やったぜ九州ナンバーワン!

千五百チームの頂点に立つ

加治木サッカースポーツ少年団



(剣道) りりしい姿です

全国大会

パート優勝で優秀賞

加治木剣道スポーツ少年団

加治木剣道スポーツ少年団は三月二十六日、茨城県武道館で開催された第三十六回全国選抜少年剣道錬成大会でパート優勝を飾り、栄誉ある優秀賞に輝きました。

鶴井正明育成会長は「選手たちの努力と勇氣に感動しました」と喜んでいました。

☆出場者（敬称略）
監督 中村 勲 南田一博
選手（錦江小六年生）
新西直人▽住沢慎也▽秋丸洋平▽村上由紀恵▽鶴井正吾▽南田菜央

今大会は、全国から選抜された三百六十一チームによる十二パート（各三十チーム）で戦いの火ぶたが切って落とされましたが、加治木チームは四回戦をチームワークの良きで乗り切り、みごとパート優勝を果たしました。

各パート優勝の十二チームによる優勝決定トーナメントは、惜しくも千葉五徳館に破れましたが、

育成会長 鶴井正明
※現在、加治木剣道スポーツ少年団では団員を募集しています。入団希望者の方は鶴井正明さん（南塩入）まで連絡してください。

☎63-4008

アンの体験記

皆さん、おやっとさあ。新しい年度を迎えましたので、今月から英会話のかわりにヨーロッパ人の視点から見た日本、加治木での自分の経験、アイルランドの文化・日常生活などを紹介したいと思います。

日本に来て初めの頃、日本語をうまく話せない私は孤立感を強く胸に抱いていました。世界中どこへ行っても、その国の言葉が話せなかったら大変な障害になります。私は来日する前、大学で二年間日本語を勉強していましたが、日常会話の経験が浅かったので、日本に来てからは回りの人々の言うことがチンプンカンプンでした。もちろん、大阪弁にも困りました。「おおきに、もうかりまっか、ぼちぼち電話(?)、あきまへん、さっぱりですわ」……などなど、頭はくらくらしていました。

しかし、日本の家族と生活していましたから、相手にいい印象を与えようといろいろがんばっていました。ある時までは、言葉を使わずに身振り手振りだけでコミュニケーションしていましたので、辞典は命の次に大事なものになりました。もちろん時間がたつにつれ、最初のころの間違いばかりの私の日本語も少しだけは上手になっていました。しかし会話が通じない場合も多く、そんな時、私はニコニコしながら「ええ、そうですねえ」「ああ、そうですか」などと馬鹿みたいな答えをしていました。

日本語はあいさつが多く、英語にはないあいさつもあります。例えば「ごちそうさまでした、お疲れさま、ごくろうさま」は、外国から来たばかりの人達にとってなま치가えやすい言葉です。私が西宮市にホームステイしていたころ、京都見学ツアーから家に戻った時のことです。私はとても疲れていたのですが、京都からのおみやげをステイ先のお父さんお母さんに渡ししながら、「つまらないものですが……どうぞ」の代わりに、大きな声で、「おめでとうございます」と叫んでいました。みんなで大笑いしたまではよかったのですが、その時私はトイレのスリッパをはきかえるのを忘れていました。(ヨーロッパでは家の中でスリッパをはきかえる習慣がないので、まだ慣れていませんでした!) 大きく「トイレット」と書かれたスリッパをはいたまま、家をうろうろされて、お母さんは大変困っているようでした。いま、おみやげを私からもらったばかりなのに早速スリッパのことで私を注意する事に気が引けたのだと思います。でも、結局たまりかねて、私の足元をさして小さい声で一言「スリッパ………」と言い、私も恐縮して、「すみません、すみません」とあやまりました。

もう日本に住んで長くなりましたが、来たばかりの頃のことを振り返って見ると私は笑ってしまいます。また私は日本に来てからずいぶん変わりました。いろいろ勉強になり、視野も広がりました。だから地球の裏側へ来て、母国から離れた国の一つで暮らすことや、育った環境とちがう社会に飛び込んで生活するのは非常に素晴らしい経験だと思っています。



いろいろな所で笑顔をふりまく

子どものための詩

宿題

椋 鳩 十

おらあ
屋根の上に

どんと坐つとる

空は でつかいなあ

まると雲が

流れていく

ゆっくり ゆっくり

流れいく

おらあ

宿題

すましてしまったのだぞ

おらあ

屋根のてっぺんに

腰かけておる

むこうの

細い道を

ブタが

やってくる

かこいから

逃げだしたのかな

立ちどまって

風の匂い かいでいる

おらあ

指みたいな尻尾だな

びりびり尻尾だけ動かし

ては 少しも動かさない

あれ

体を少しも動かさず

おしっこやってる

気持よさそうに

ジャアジャアやってる
おらあ
宿題
すましてしまったのだぞ

おらあ

屋根の上に

腹ばっている

花子が やってきた

宿題すましたか

といったら

まあだ

といった

早くやれや

といったら

花子は

腹をたてて

アホチン アンボンタン

お世話やき

とあぐたいついた

だけど 平気だった

おらあ

宿題

すましてしまったのだぞ

(椋鳩十の本第三十二巻 理論社)

椋鳩十は、大学時代二十一歳

の時、処女詩集「駿馬」を出版、

翌年詩集「夕の花園」を出し、

当時の詩壇に光彩を放ち、一躍

若き詩人としての地歩を築いた

のである。

加治木文化財ウオッチング (26)

文之和尚

加治木町が、県下で一番豊富な指定文化財を誇るということは以前にも紹介しましたが、そのほとんどが町指定で、国指定はわずかにひとつだけです。その唯一の国指定文化財「南浦文之墓」について説明しましょう。

この文之和尚は禅僧で、弘治元年(一五五五年)日向国に生まれ、幼いころ飢肥南郷の外浦(宮崎県串間市)に住んでいた。南浦と名乗りました。

六歳のとき、日向の延命寺に預けられて僧になりましたが、その住職は南浦の神童ぶりに

驚嘆し、自分の手に余ることから、彼の教育を龍源寺の高僧一

翁に託し、南浦はそこで禅(臨済宗)と儒学を学びました。や

がて南浦の才能は都まで伝わるようになり、召しだされて京都

相国寺の仁如上上人より「文之」の名をいただいたのです。

文之和尚は、十五歳から二十歳ごろまでは京都の東福寺で修行。そのあと加治木の神護寺に

入りましたが、二十三歳になっ

たとき、日向国が島津氏の領地となったため、神護寺を辞職して龍源寺の住職となりました。その後、高山の昌林寺や財部の正森寺、国分の正興寺を経て、加治木の安国寺の住職を務めました。

慶長四年(一五九九年)、島津義弘に従って上京し、かつて文之が修行した東福寺で説教を講じました。また、徳川家康の命令で筑前(福岡) 禅光寺・相模(鎌倉) 建長寺の住職も務めました。

文之和尚は朱子学者としても有名で、多くの著作を残しましたが、なかでも種子島で聞き取り調査した詳細な鉄砲伝来の記録「鉄砲記」は大変貴重な資料です。また漢文を訓読するとき用いる「返り点」などの記号は「文之点」と呼ばれ、後世まで長くその權威を保ち、日本儒学の発展に貢献したといわれています。

文之和尚は、島津義久、義弘、家久に深く信任され、藩の財政

や外交上の相談役として活躍しました。門下生にも優秀な学者が生まれ、和尚の及ぼした影響は多大なものがあります。文之和尚は、加治木の安国寺で六十六歳で亡くなりました。墓は明治時代荒廃しましたが、大正時代になって整備され、昭和十一年に国の指定文化財となりました。





海鳴りのとどろき目覚めや梅二月

神村 洋子

転動を地図に確かめ日脚伸ぶ

古江 重美

陽炎や象は鼻より歩み出す

加藤 白柳

火の島へ千す蒸気の寒晒し

波江野霧石

老の目を春雨濡らす海行かば

恒吉 斗南

海峡を渡る鷗の冬日挽ね

竹山 洋子

護国の子の日記読む春時雨

園田 千秋

震災の瓦礫の下に萌ゆるもの

高木 正男

水垢離の湯気立ち初むる寒行僧

岩田美知江

思はざる鈴鳴りぬ冬を風呂

鶴田 耕

わが身ぬち潮の満ちくる春の月

川崎 黒兎

われ一人取り残されて春炬燵

稲恒やすお

蛇すでに選ぶ花木を買ひにけり

柳田 稔

生け垣に抜け道ありて冬温し

萩之内幸子

山椿飾り隠居所棟上る
白尾 澄子

平成7年 5月在宅医表

3	ザ王病院	内科・胃腸科・循環器科 理学療法科 加治木町反土2151-1 ☎62-4611
4	大井病院	外科・内科 加治木町本町141 ☎63-2291
5	加治木温泉病院	内科 加治木町木田4714 ☎62-0001
7	壺岐内科	内科・小児科・循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222
14	佐藤医院	内科・小児科 溝辺町有川327-2 ☎59-2607
21	池田医院	内科・小児科 加治木町本町358 ☎62-2220
28	川畑内科	内科・小児科 加治木町錦江町234 ☎63-1499
※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。		
日曜・祝日 歯科救急診療 10時～15時 郡歯科医師会館 口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)		

しま狂句

▼兼題「苦勞」 柿 牛尾選

天 我が事も 穂の無てん 苦勞を買つ (楓)

唱 考えよやな 立派な人じゃ

地 所帯柱 苦勞がごらいと へき溜まつ (蔵王嶽)

唱 息抜きすいもすい 暇が無し

人 ダイエット 並の苦勞じゃ 儘めならじ (桔梗)

唱 肥えたといひ 丁度よかんど

かじき 龍門滝まつり

- とき 6月4日(日)
午前9時開会
- ところ 龍門滝周辺
- 催し物 ウォークラリー
つり大会
ほか各種イベント



社会保険事務所が開設

加治木 駅 東 側

始良郡待望の社会保険事務所が加治木に開設され、四月三日から営業が開始されました。

新庁舎は、JR加治木駅のすぐ東側で、鉄筋コンクリート三階建て、総工費五億三千万円の目を見張る立派な建物。業務は政府管掌健康保険、厚生年金保険、国民年金を取り扱い、管轄は大口市、国分市、始良郡、伊佐郡の二市十二町で、県内では六番目の事務所。

これまでは、鹿児島市内まで出張しても事務所が北か南か分からず面倒でしたが、加治木で簡単に出来るようになりました。

ご存じですか？

介護支援センター

お年寄りのことなら

何でもおまかせください。

相談は無料です。まずお電話ください。

相談員と看護婦が相談にうかがいます。

- 在宅介護の相談 ●ホームヘルパー派遣
- 介護用品の紹介や使用方法等の助言
- デイサービス事業 ●ショートステイ事業
- 福祉サービスの申請や手続き



加治木町在宅介護支援センター

☎62-3553 (加治木望岳園内)

ビヤガーデンオープン

— ふれあい物産館 —

5月19日(金)～8月末日まで
営業5時30分～9時30分まで

生があるじゃないか！



御家族
連れで



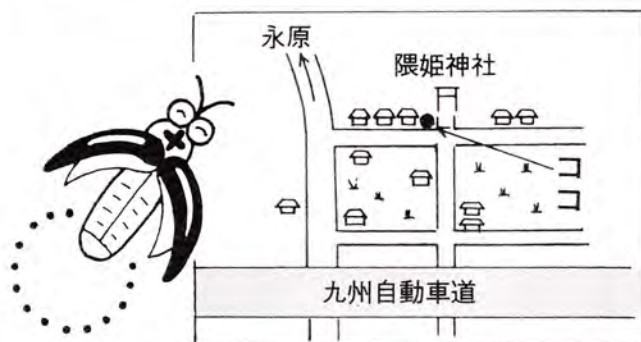
★メニュー(つまみは大盛り)

生ビール 500円 からあげ 500円 やきとり 500円
焼酎 200円 枝豆 500円 フライドポテト 500円
アルバイト募集！ ふれあい物産館へ(☎62-2246)
お問い合わせは

ホタルをみる夕べ

とき 5月20日(土) 午後7時～

ところ 隈姫神社前ホタル川(上木田)



加治木町ホタルを育てる会

(鹿倉末雄会長 ☎63-1606)

役場職員異動

四月一日付()内は旧

学校教育課長・福山成昭(東郷小教頭)▽農業委員会事務局長・坂部毅(教委総務課長)▽学校給食共同調理場長・永山里志(農業委員会事務局長)▽教委総務課長・白尾親昭(学校給食共同調理場長)▽保健衛生課長補佐兼国保係長・湯川忠治(同国保係長)▽住民課記録係長・木場正夫(都市計画課住宅係長)▽都市計画課住宅係長・大迫生代(住民課記録係長)▽工事監査課契約係・池田厚子(保健衛生課予防係)▽総務課消防交通係・大迫義孝(住民課記録係)▽住民課記録係・福森光枝(同課窓口係)▽住民課窓口係・猪俣泰代(総務課庶務係)▽税務課第二係・藤野洋一郎(経済課農振兼農構係)▽経済課農振兼農構係・額川浩一(税務課第二係)▽水道課工務係・徳部健一(都市計画課街路係)▽土木課土木係・中村良史(経済課林務係)▽経済課林務係・竹下健二(土木課土木係)

〔新規採用者〕
総務課庶務係 葛西章子
保健衛生課保健係 山下悦子
予防係 徳永順良
学校給食共同調理場 坂元真治
吉村昭輝

1995 おしらせ

親子映画鑑賞会

(福祉センター)

日時 5月13日(土) 14時

映画 ①わたんべと

すばらしい仲間

②ムシムシ海へ行く

(棕鳩十文学記念館自由の館)

春満開!

- 満開の桜を浴びる高岡公園
- 華麗な岩ツツジ
- 吉蘭道春さん宅(楠園)
- チュウリップの幹に花が四つ

福田郁雄さん宅(岩原西)



日時 5月28日(日) 10時
映画 ①片耳の大しか
②ほかアニメ二作
主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更することがあります。)



うぶ声



出生児 保護者 自治会
濱田 健太 佐敏 豊町
徳永 博士 光博 西町
山鹿 響子 真人 須崎

永谷亜莉茄 俊広 赤坂
榊満 健太 茂美 田中
永谷 京介 俊広 赤坂
中島帆乃香 武 空港団地
新地 七海 勝久 下浜
鈴木 貴士 秀蔵 今町
大脇 篤志 久雄 上木田
是枝 快紀 快房 豊町
田中くるみ 健一 原ノ門
西堂園智志 均 蔵王団地
野間 篤龍 昭二 毘沙門

市来原果歩 浩一 萩原
古川 墨士 潤一郎 垂ノ口
安藤 貴昭 昭男 中福良東
高山みなみ 八大 郁文館住宅
立元 美子 隆正 東塩入
荒木 伽奈 浩二 蔵王団地
高崎 萌 広秋 柳田
武田 吉史 健次 西諏訪

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人社会福祉協議会へ)

五万円 於里 古江幸子(夫 國治七)
一万円 岩原 向江増美(母 フイ六)
三万円 楠園 豊村義一郎(父貞義八)
五万円 反土黒川 木場節雄(妻ハルエ七五)
三万円 田中 山口 格(義母恒子八三)
五万円 里ノ下 松尾ヨシ子(夫廣志五三)
五万円 端山 石山大陽(母サワ子九五)
七万円 桑迫 中迫秀子(夫 慶蔵七九)
三万円 永原 東 光義(母 フイ九)

二万円 内原田 上別府キサ(四男義弘四)
五万円 城 岩澤 學(母 シナ九三)
二十万円 小 陣 松下アキ(夫 武二八四)
五万円 下新道 垣内不二(夫 松己八四)
五万円 西諏訪 西 武明(母 イ子九五)
五万円 岩原東 池田 徹(母スミエ八)
二万円 岩原西 米山賢子(夫 満三六)
十万円 萩原 岸野 吉(姉 テル八九)
五万円 毘沙門町 前田ハスエ(母キヨ九七)
二万円 身体障害者福祉協議会へ
二万円 里ノ下 松尾ヨシ子(夫廣志五三)
二万円 下新道 垣内不二(夫 松己八四)
三万円 育英奨学資金へ

於里 古江幸子(夫 國治七) 五万円
反土黒川 木場節雄(妻ハルエ七五) 五万円
老人クラブ連合会へ
五万円 城 岩澤 學(母 シナ九三)
十万円 小 陣 松下アキ(夫 武二八四)
三万円 下新道 垣内不二(夫 松己八四)
二万円 毘沙門町 前田ハスエ(母キヨ九四)
▽三月二十日までの御寄付を掲載いたしました。(年齢は満年齢)

記事訂正とおわび

3月号の記事中誤りがありました。深くおわびして訂正します。

10ページ「寄付」中
今町 床村千鶴子↓庄村

毎月 防火の日